

2019年度 教育目標

校長 吉川 隆司

目標

【input】 【thinking】 【output】
3つのサイクルを身につけ、対話力の向上・学習習慣の確立をはかる。

「留意点」

1. 対話力の向上を目指して社会で生きる力を身につける。

聞く力	【input】	傾聴する
考える力	【thinking】 ※理解する力 【思考力】 ※判断する力 【判断力】	相手を理解する
伝える力	【output】 ※説明する力 【表現力】	正しく伝える

2. 学習習慣の確立を目指して「学びに向かう力」を身につける。

聞く力・読む力	【input】	集中する
考える力	【thinking】 ※理解する力 【思考力】 ※判断する力 【判断力】	粘り強く取り組む
伝える力	【output】 ※説明する力 【表現力】 ※行動する力 【行動力】	積極的に取り組む

《目標設定に関する考え方》

本校の建学の精神をふまえて、生徒たちがどんな人間に育って欲しいか、そのために何を学ばせたいかを考えたときに、目標として定めたい事は多く思い浮かびました。中学校までは慣れ親しんだ周囲の環境の中で学んできた生徒たちが新しい環境の中で仲間づくりをし、協働し、成長していく高校は、将来社会で生きていくトレーニングの場です。人との関わりに必要な挨拶、礼儀はもちろん、自分の事だけでなく相手の事も考え、平和で安心できる生活は多くの人が望んでいると思います。それを学校生活で行う授業、学校行事、部活動を通じて学ばせたいと考えます。このような考え方で、今年度の重点とする目標を上記のように掲げました。

また、『誇りに思う学校』になる必要な条件は生徒・保護者・教師どうし、生徒と教師・保護者と教師・生徒と保護者が信頼し合うことだと考えます。その上で目指す目標を達成するためにやれることを悔いなく行うことができれば、少なくとも結果だけにこだわることはないと思います。地域社会に貢献できる人材の育成を目指せば、自然と『地域から応援してもらえる学校』になっていくと信じています。